



平成 30 年度 第 6 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 平成 30 年 1 月 27 日 (日) 9:30～ 16:00

開催場所 静岡県栄養士会事務所

出席役員 ○出席 ×欠席

職域事業部	会長	副会長	〃	学校	〃	公衛	〃	研究	〃	勤労	〃
氏名	坪井	木下	新井	大塚	伊奈	辻井	竹澤	末永	篠原	森下	矢ノ下
出欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
職域事業部	地域	〃	〃	〃	医療	〃	〃	〃	福祉	〃	〃
氏名	若林	石垣	池谷	上田	久保田	渡邊美	鈴木	渡邊潤	田森	寺田	芹澤
出欠	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
監事	秋谷	紅林									
出欠	○	○									

開 会 定刻に至ったため、木下副会長が出席理事を確認、出席者が過半数に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、研究教育事業部の篠原理事と地域活動事業部の若林理事が指名された。

1 会長あいさつ

会員減が下げ止まりになった。若い会員が増えてくれることを望む一年としたい。日栄の Web での会員登録や研修会申込がリニューアルになったが不具合が全国で報告されている。静栄でも Web ページの更訂を計画しているが、会員の方々の利便性を高めて失敗の無いようにしたいので、協力よろしくお願いします。

2 前回議事録の確認

第 5 回の議事録の確認 変更なし

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 91 条第 2 項）

(1) 会長

12 月 15 日～16 日 東海北陸地区会長等合同会議（富山県）

会長、副会長、行政代表者、連盟支部長の 5 名が出席

12 月 18 日 韓国・静岡県友好料理教室（静岡ガス・エネリア）挨拶

1 月 6 日 県薬剤師会「健康サポート薬局研修会」東部地区、沼津サンフロントにて講演

1 月 12 日 平成 31 年度東海北陸地区代表者会議開催会場打ち合わせ（焼津松風邪閣）

1 月 15 日 平成 30 年度第 2 回静岡医師会・静栄定例会議（静岡市医師会会議室）

- 1月18日 「食品表示適正化講習会」次年度打ち合わせ（グランシップ）
- 1月21日 県給食協会事例研究発表会（グランシップ）
- 1月21日 三役会議（静栄事務局）
- 1月26日 浜松 IBD 研修会（グランドホテル浜松）

(2)木下副会長

- 12月15日 東海北陸地区会長等合同会議（とやま自遊館）
- 12月16日 " (富山県総合福祉会館)
- 12月22日 ホームページの打ち合わせ（静栄事務所）
- 1月18日 平成30年度在宅介護者食生活支援研修会（掛川市徳育保健センター）
- 1月19日 2019年度予算・その他事業の打ち合わせ（静栄事務所）
- 1月21日 三役会議（静栄事務局）

(3)新井副会長

- 12月15日～16日 東海北陸地区会長等合同会議（富山県）
- 12月17日 しずおか健幸惣菜レシピ作成（あざれあ）
- 12月21日 三役会議（静栄事務所）

4 報告事項

(1)研修部（渡邊理事）

- ①1/18（金）在宅介護者食生活支援研修会「高齢者の在宅での食事ってどうすればいいの？」
掛川市徳育保健センター 福祉・地域・公衆事業部合同
参加人数 22名

- ②2/2（土）栄養ケア寄り添い型ソリューション（よりソリプロジェクト）指導者研修会
浜松医大病院 よりソリプロジェクトワーキングメンバー
参加申込人数 15名

- ③2/3（日）東部ブロック研修会「栄養ケア寄り添い型ソリューション事業」DVD研修
「地域包括ケアシステムへの参画に向けて」静岡県長寿政策課担当者講演、及び演習
栄養士交流会（東ブロック）日本大学短期大学部 東ブロック
参加申込人数 14名

- ④2/23（土）「がん患者の食事と栄養」静岡県立静岡がんセンター 栄養室長 稲野利美 先生
第4回 静岡県栄養士大会～学術研究会及び交流会～
参加申込人数 午前32名、午後27名

(3)栄養ケアステーション部の活動報告（寺田理事）

- ①日栄より、平成30年度栄養ケア寄り添い型ソリューション事業（よりソリプロジェクト）
『都道府県栄養士会における実態調査へのご協力をお願い（アンケート）』を提出予定

- ②平成30年度 第2回 静岡市静岡医師会・静岡県栄養士会 定例会議の報告
平成31年1月15日（火）19:15～静岡市静岡医師会館 会議室

(ご挨拶)

静岡市静岡医師会 袴田光治 会長

栄養士会とは連携が取れていると思っている。管理栄養士がいると医師の格も上がる。

静岡県栄養士会 坪井 厚 会長

国民の栄養に関する関心が高いが、一部に突出して間違った解釈をすることも多い。

正しい情報を伝えられるように、栄養士のスキルアップを図りたい。

【静岡県栄養士会より】

● 合同研修会のご報告

平成 30 年 10 月 26 日 (金) 19:15～ 静岡市静岡医師会館 3 階 講堂

19:20～20:20 講演 順天堂大学准教授 竹田和由先生「身体を守る免疫の話」

20:30～21:30 懇親会 参加者：医師会様 28 名、栄養士会会員 40 名 合計 68 名

● 平成 30 年度 管理栄養士求人数のご報告 (中間報告)

静岡医師会内診療所の管理栄養士求人 0 件 (その他の地域：浜松市 1 件、藤枝市 1 件)

【静岡市静岡医師会様より】

・ 栄養ケアステーションについて

医：登録者は多いが実際に活動できる人を把握しているのか。

医師会としては、ニーズは訪問栄養指導のほうにあると考えている。

何人が訪問栄養指導できるのか、キャパがどのくらいあるのかしつかりした数字を提示してもらいたい。

在宅での食事に関しては、実際にやってみせるのが大切。実技が必要。

医師会で管理栄養士を雇用し、リーダーを育て広げていく方法もあるが、それでは栄養士会との連携が不要になってしまう。

栄：栄養士会としては、若い人にも加わってもらいたい、十分な収入が得られず、他の仕事についてしまうことが多い。

訪問の場合だと、ある月とない月があるため、収入は不安定。

医師会で管理栄養士を雇用するという話があったが、栄養士会がリーダーシップを取っていきなると考えると、現状の連携から進めていくのが良いと思う。

人員の把握ができていないのは、会員でない方も多いため。

ケアステーションでも調査は難しい。

医：医師会のほうで、診療所に就業している管理栄養士の調査をすることはできる。

調査は医師会主体で。就業人数と非常勤かなどの項目でおこなう。

調査様式については、医師会事務局で案を検討し、栄養士会ケアステーションと相談する。

【次回 定例会議 日程について】

・ 講演会 「フレイルを防ぐ食事」(食事はキーワード)

講師は、なるべく身近でお金がかからないようにする。

1,000 円程度の参加費は徴収する予定 → 講師謝金と交通費は折半とする。

懇親会は医師会負担だが、講師料が安くなるなら懇親会費に回せるか。昨年度懇親会費 16 万円)

講師選定については、栄養士会で提案する。

・ 次回会議 7 月 9 日 (火) 19:15 から

③静岡県健康福祉部健康増進課主催の「食べるから繋がる地域包括ケア」資料集作成ワーキングへの参加（平成30年12月～平成31年2月の期間で3回開催の予定）

(4) 地域・福祉・公衆合同 平成30年度在宅介護者食生活支援研修会の実施報告（田森理事）
前述の研修部にも掲載

一般県民向け（介護家族向け）の講習会 出席数：22名

日時：平成31年1月18日（金）13:30～15:30

会場：掛川市徳育保健センター

講師：管理栄養士 加藤百合子 先生 管理栄養士 高梨恵子 先生

歯科衛生士 川瀬明美 先生 理学療法士 渡邊良平 先生

講義内容：第5回理事会議事録に掲載済み

・地域住民も半数近く参加していただき、パッキングは興味をもって聞いていただけた。

(5) 委託事業報告（若林理事）

①元気をみつめる外食活用推進事業

高校生対象講座 10校

飲食店栄養成分表示 9店舗 （別紙一覧表参照）

②しずおか健幸惣菜レシピ募集等業務の進捗状況

・12月18日（月） あざれあ生活関連実習室にてしずおか健幸惣菜レシピ試作

検討会による審査通過 29品（主菜13品、副菜9品、主菜・副菜7品）

冊子作成 全体を44ページにレイアウト決定

③富士宮市食文化プロジェクト事業

「健康な食事」について考えるランチセミナー開催の予定

1月30日（水） フレンチコワン 参加予定人数 20名

2月20日（水） フォレストヒルズ レストランスカーナ 参加予定人数 50名

(6) 日本栄養士会「平成30年度と2019年度栄養ケア活動支援整備事業」（若林理事）

「～栄養ケア寄り添い型ソリューション事業（よりソリプロジェクト）～」事業について
平成30年度の予定

・2019年3月10日に都内にてワーキング全体会を予定

・2019年2月中に東海・北陸ブロックワーキンググループの開催

（内容：東海北陸ブロックの委員との情報交換および今後の予定についての打ち合わせ会）

日本栄養士会の下浦常務理事より「12月28日付で、年明け4日に厚生労働省から内示の連絡が出た。しかし、計画予定の事業を実施することは困難であることから、今年度実施可能な事業計画を検討していきたい。2019年度については栄養ケア活動支援整備事業の予算が計上されているので、今後の計画も併せて検討していきたい」という主旨説明があった。

平成30年度栄養ケア活動支援整備事業計画について

平成30年度は下記事業を行うこととした。

1) ゼロワンマップの更新

・12月19日付で、各都道府県栄養士会へ調査の依頼を行った。回答締切日は1月31日（木）。

・ゼロワンマップ調査のためにかかった郵送費用については補助金の中で負担をする。

2) 「栄養改善取組プログラム (仮称)」の試案の開発

①地域ケア会議助言者のための人材育成研修で掛かった費用の一部補助

平成30年度に各都道府県栄養士会で、地域ケア会議助言者のための人材育成研修を実施した際の費用の一部負担を行う。

2019年度の事業計画

高齢者における低栄養予防・栄養の重要性の意識を高めるための研修会(仮称)の内容について

1)研修会内容について

- ・内容は、上記項目の2)に記載の「栄養改善取組プログラム」とする。
- ・時間は90分程度
- ・講演開催にあたっては、都道府県・市町村等と連携して、都道府県・市町村等が主催する研修のひと枠をもらって実施するなどを検討、栄養士会独自での開催も可とする。
- ・都道府県・市町村と連携する場合は、経費の一部を当会でも負担をするなどの調整を行う。
(栄養士の講師派遣料、会場借用料の一部を当会が負担するなど、適切な方法を検討する)
- ・開催は2019年9月～12月頃とする。

(7)食品表示適正化・活用普及委託事業(池谷理事)

- ・講習会テキストの作成：昨年度のものに修正を加え、第2版を450部作成した。
- ・栄養成分表示作成講習会(県内3か所)開催時間：13:30～16:30(受付13:00～)
平成30年10月19日(金) 島田市 プラザおおるり (定員150名)参加者51名
" 11月9日(金) 三島市 県総合健康センター (定員100名)参加者50名
平成31年1月18日(金) 静岡市 グランシップ (定員150名)参加者70名
受付した人数を委託での受付・参加人数とすることが県担当者から連絡があった。

講師：静岡県立大学 教授 市川陽子氏 東海大学短期大学部 助教 遠藤泰子氏

演習サポート：地域活動事業部 池谷理事、事務局 安倍 事務対応：事務局

但し、助手は参加者数により調整(静岡会場は石垣理事に助手の応援を依頼)

2019年度も県から委託事業として受けることを検討中。

- ①栄養成分表示作成に関する講習会(講師：大学教授)を年3回開催(今年度と同様の形式)
- ②新しい原料原産地表示制度に関する講習会(講師：消費者庁職員)を年2回開催

なお、テキストは今年度印刷製本したものを活用し、参考書籍の販売は行わない。

参加者受付の方法を検討し、業務の軽減化を行う。

パンフレットは県からデータを預かり、10,000部印刷して各保健所、市町の担当行政課等に送付。
新年度に向け、講師依頼、会場確保などの準備・調整を行う。

(8)その他

①2019年度4月から対応：所得税法の源泉徴収義務について(木下総務部長)

源泉徴収義務については、所得税法の第二百四条に記載されてる。(資料参照)

会計事務所からの指導もあり、2019年4月から、委託事業を含め報酬には納税が発生することを基本的に事務手続きを行う。

5 協議事項.....

(1) 2019 年度の予算編成について(木下総務部長)

2019 年度収入と支出について

収入概算 : 1400 名×9,500=1,330 万

入会金 120 人×1,000=12 万

賛助会員 67 社×3 万=201 万

} 計 1,543 万

・各事業部の予算については、全部の事業部が揃っていないので、申請のないところは前年度予算と同じにし、申請のあったところのみ総務部長が口答説明。事務局費も未だ出していないので、来年度の予算が出た時点で、三役で全体を調整し、次回理事会にかけることとなる。

学術部としては 127,000 円を計上したい。

栄養の日は県営でも実施しなくてはいけないので、予算を提出している。(61,000 円) (研修部長) 研修会の方針について (予算の有効的な活用)

・研修会の参加者が少なかったなど実績で予算は見直していかないと膨らむばかりになる。

栄養の日も 8 月が期間になるのでイベント等やりにくい。予算のこともあるので会場を借りて講演会というばかりでなく、栄養の日を県民に栄養の日を周知するアイデアを考えてほしい。

(参考資料) 仮の予算申請一覧表に各事業部の申請内容について、それぞれ記載。

(2) 会員名簿の作成について (木下総務部長)

2020 年は会員名簿作成の年度 (従来 2 年に 1 回発行) であるが、会員名簿に対しては様々な意見が出ている (個人情報に関連等で他団体では名簿を止めているところが多い) ので、今後どのように会員名簿作成を進めるかを検討したい。

2020 年度の名簿について再度、ワーキンググループを作って検討することの提案がある (総務部長)。名簿作成についての考え方は以下の 3 つがある。

① 名簿は作るが配布はやめる。②名簿の内容を検討する。③名簿の作成はまったくやめる。

どうするか各事業部からの意見を聞く。合わせて理事でないときに会員名簿を活用したかについても答えていただきたい。

<意見>

・前年度の名簿作成委員の会議で、名簿は静岡県栄養士会として、何かあるときにはないのは困るので理事・賛助会員・事務局 (ケアステ) は必要ではないかということになっている。ゆえに、名簿作成と管理は行うが、会員への配布をどうするかを検討を協議するのが必要ではないか。

・データ自体は保管されているので、何かあるときとは、どういうときかを検討し、必要な部署はどこか。個人情報をどこまでを出していいものかも問題である。(名前だけ掲載している会員と、名前の掲載もいやだという会員も入る)。名簿作成については、各事業部で名簿の使い方が違うのではないか。

(地域) 委託事業の関係で理事・運営委員は名簿が必要。しかし、連絡が必要な人の個人情報の記載がなかったり、イベント対象を探して参加の案内をするにも、現在の名簿は年齢等が記載されていないので使いにくい。

(行政) 理事でなくても、自分の地域にいる会員は誰なのか調べたりすることがある。

・情報開示についてルールを決め、名簿が欲しい会員は事務局に連絡の上で貰うようにする方法もある。

・今回の名簿には、(時勢をかんがみ、次回名簿作成につきましては、「会員名簿の在り方検討」を予定しており、本名簿を大切に保管活用くださいますようお願い申し上げます) と記載がある。

- ・三役会議で名簿の作成の必要性について、会員にアンケートをとりたいと考えているという意見があった。
- ・名簿に自分の記名があることで、会員であるということがわかる。
- ・自分は名簿は使わないが、個人情報がある他の人の目（会員内でも）に触れることを好まない会員もいる。（数人）
- ・名簿は作成するが、全員配布ではなく、希望者に配布する方法もある。
- ・事業部ごとに作成していく方法もある。（利用するのが、理事だけか）
- ・会員個人が、どういう風に利用することがあるか。

これらの意見を受け、情報開示について検討するための委員を選出する。

検討委員：事務局（安倍さん）・総務部長と会員数が多い地域（池谷理事）・医療（久保田理事）・福祉（芹澤理事）が名簿のあり方についての検討委員となることについて賛成多数。⇒（承認）

(3) 栄養ケアステーション部より（寺田理事）

①平成 31 年度栄養ケア寄り添い型ソリューション事業(よりソリプロジェクト)のワーキングメンバーについて

- ・平成 30 年度のワーキングメンバーは、木下副会長・若林理事・紅林監事の 3 名である。日栄より 2019 年度のワーキングメンバーの申請依頼がきている。メンバーのうち 2 名は CS 部に所属しており、日栄とのパイプは継続して欲しいため、引き続き同じメンバーに依頼したい。⇒（承認）

②日栄よりソリプロジェクトワーキングメンバーと静栄 CS 部（ケアステーション部）との関係について

- ・ワーキングメンバーは従来通り活動を行い、栄養 CS 部も連携する。
- ・よりソリプロジェクト事業の必要性から、県栄養士会としては各事業部の研修会等で、まず会員に向けて広報を進めて欲しい。また、病院などで開催する研修会や県・市町でのイベント等も活用し、広報をすることが必要である。今後、静岡県栄養士会として、よりソリプロジェクトの研修及び予算については、昨年と同様に、ワーキングメンバーからの提案とする。⇒（承認）

(4) 研修部（渡邊理事）

- ・2019 年度 研修会計画について
- ・日本栄養士会生涯教育制度は、平成 26 年度の開始から 30 年度迄で、5 年間が経過している。今後の変更点等の情報は、現時点では届いていないが、2019 年度も同様に研修会を進める。

① 生涯教育基本研修

- ・平成 29 年度より、栄養ケアプロセスは DVD を整備・活用し、研修会を推進した。来年度も同様の形式で継続し、DVD 研修会を推進する。その他の項目では、時事で必要な情報を実施する。
- ・2-3. 根拠に基づいた栄養管理…食事摂取基準 2020 版への改訂に向けて
（案）2019. 11 月頃に開催。検討委員等の著名な先生に講師を依頼することを検討している。但し、佐々木先生と雨海先生は所属の協会の方針で、「日本人間健康栄養協会主催」、「〇〇栄養士会協賛」の形式でない、研修会をお受けいただくことができない。

- 会員の誰かが講義内容を聴きに行き、伝達形式も考えられるが、研修方法は未定である。
研修参加人数が多く見込めるので、第5回栄養士大会を同日に開催するのも良いのではないかと。
・3-7. 衛生管理…HACCP 導入に向けて（保健所等の県職員の方に講師を依頼することは可能か）

②生涯教育実務研修会

- ・事業部の壁を作らず、どの事業部の会員も参加できることを意識した研修内容で開催している。
- ・研修会の内容・日程等は、できるだけ重複を避けるように計画する。
- ・研修の担当は、「地域・勤労・公衆3事業部合同」、「学校」、「医療」、「医療・福祉」で講義形式、「研究教育」で演習形式により開催してきた。

2019年度も、会員のニーズに合わせ、多くの参加が見込める内容での研修会を企画していく。

- ・2019年6/29 3事業部合同(地域・勤労・公衆)「地域包括ケアシステム」講義1単位
講師：日本栄養士会理事 田中弥生先生
- ・2019年8/31 学校「食物アレルギー」講義1単位、演習0.5単位
講師：昭和大学医学部小児科学講座 研究補助（管理栄養士）
小児アレルギーエデュケーター（PAE） 長谷川 実穂 先生
- ・2019年9/28(仮) 医療 病態講座 講義2単位
- ・2019年11月～2020年2月頃 医療 病態講座 講義1単位
- ・DATの研修会は、9月に1泊2日で研修会を予定している

地域活動事業部の会員から、研修会の内容で腎臓病の栄養指導について、栄養科の管理栄養士に講演を依頼したいという希望があった。⇒研修部会で検討。

東海北陸地区の三役会議の「生涯教育」について、新井・木下副会長から以下のような報告、提案があった。

- ・認定試験を受ける人は東海・北陸合わせても1～2名くらいしかおらず、会員のニーズは少ない。静岡としては会員に認定をとって貰うつもりでこれまで動いてきたが、ズレが生じているようだ。
- ・愛知県のように母体が大きい県では生涯教育の研修会実施でも採算は取れるが、他の県については厳しい状況である。

その他の意見

- ・新しいカリキュラムに変わる前の会員は生涯教育の研修を受講する目的もあったが、若い年齢層の会員は新カリによる授業が既に養成校で行われているので、生涯教育の内容より生理学や生化学等について知りたいという意見があった。
- ・研修会の講師には著名な先生を呼んでいただいているが、参加者数が伸びない状況であり、実績を含めて予算案を見直す必要がある。

- ・できるだけ研修会をまとめて同じ日に開催する等の要望があった。

これらの報告を踏まえ、研修部長の渡邊理事より以下の発言があった。

- ・新しい情報は研修会にできるだけ入れていく必要がある。
- ・それ以外の研修会は、実務研修と基本研修をどのように組み合わせても良いし、現在もそうしている。
- ・食事摂取基準や衛生管理の研修会は、現在のところ講師が未定であり、今回の提案を念頭に研修部で再度検討していく。

その他：日栄のHPが止まっているので、研修会でバーコードリーダーが使えない状態となっている。

加えて、生涯教育単位については全会員が見れない状態で、生涯研修の単位認定が事務局でも確認できない。

3月末の〆切を延長して貰うことはできるか。地域で3名認定を受けたいと聞いている。静栄では12月までのデータは業務支援システムで確認ができるので、必要な人は事務局へ連絡をする。

③日栄委託事業

- ・2019年度は今のところ予定なし。

(2019年度の日栄委託事業は受けないことを、会長の指示により日栄には事務局から報告済み)

④栄養の日

- ・2018年度より、栄養週間の中で各都道府県にて企画し、イベントを開催している。今年はやクルトの協賛で行ったが、2019年度は静栄独自で考えていかなければならない。
- ・事業部長より、公1の事業が少ないので、2019年度は、8/3(土)または8/4(日)に坪井会長に講師をお願いし、県民を集め広く栄養の日のイベントをしたらどうか。例えば「(仮)フレイル予防で健康長寿!」の内容で、市民公開講座開催を検討したい。ただし、3日、4日は県内でもイベントが多くあり、会場が確保しにくい状況。
- ・駅の街頭でちらしを配ったり、費用の掛からない方法等があると思うので検討する。栄養の日については、研修部ではなく担当者を決めた方が良いのではないかと。
- ・提供を受けられる商品であったヨーグルトは、夏場で配布が困難のため商品は活用しなかった。日本栄養士会の諮問会議に出席の際には、会長から検討事項として(夏場に配布できる商品の提供)提案していただく。
- ・県の某協議会から調査があり、当会が県民のためにどのような活動をしているか報告の依頼があり、今年度は西部で開催した在宅介護と、医療での情報提供書の研修会について報告した。

(5)学術部 (伊奈理事)

栄養士大会について

- ・昨年度開催した栄養士大会の実績をベースに資料を作成した。(別紙資料参照)
- ・ポスター発表者は昨年度とほぼ同数の応募があった。従って、当日のタイムスケジュール、部屋の使用状況については昨年度と同様に検討した。
- ・賛助会員様の参加は1月24日現在12社の参加申込があり、昨年度並みである。今年度も賛助会員様にご協力をいただき、抽選会でお楽しみ商品の提供を依頼する予定である。賛助会員の展示場所は、昨年度は抽選にして場所を決めたが、包丁や布団等の食品以外のブースに訪れる人が少なかった。人の流れが均一になるように、担当者が配置を決めて案内する。
⇒承認
- ・表紙は、昨年の一ちごの写真 → 栄養士と食品のイラストに変更する。 ⇒承認
- ・アンケートは、昨年同様6項目でどうか。⇒ 同様に承認

- ・広報部と栄養ケアステーション部のポスターは無いので、タイムスケジュール案の記載は消去する。情報提供は地区研修部のみ発表演題が出ている。パネルの空いた部分は、事務局からの資料や旗などを配置する場所として欲しい。学術部で、これらの意見をまとめ、再度資料を作成して理事に配布する。⇒ 承認

(6) 広報部

1) 2019 年度予算案について

- ①従前の予算は情報管理と広報部の 2 本立てだったが、来年度の広報部の活動に Web ページ活用の検討が必要と考えるので、予算を 1 本化したいが、よろしいか。
- ②Web ページ更訂の費用捻出のため、2019 年度の「トピックス静栄」発行とおすすめメニュー関連(コンテスト開催分含む)を当該年度は休止とし、その予算を計上したいが、よろしいか。
- ③上記 2 案件に伴い、2019 年度広報部の活動は、総会での事業部紹介スライド作成と Web ページ改訂に関する業務となるが、よろしいか。
- ④Web ページの切り替え時期はいつ頃を目途にすればよろしいか。(予算案には 4 月から 9 月までの半年間を、既存業者に Web ページの更新業務委託を盛り込んでいます)

< 予算提出の内訳の説明 >

担当者旅費が 118,000 円、部会を 2 回、(担当者旅費が入る。)印刷製本費は、新ホームページのテンプレート代 28,000 円、消耗品の金額は現在のホームページを半年継続するための費用として半年分で 210,000 円、需用費は、その後の新ホームページの管理する会社の保守・管理費として半年分として 120,000 円、通信運搬費として 30,000 円、賃金として 400,000 円、以上は山崎会員からの見積りである。これらを新しいホームページの作成料として予算申請書を提出した。業者(エボリューション)との契約は年間契約で 4 月～3 月迄であり、2019 年度について現在の業者との契約更新は、2019 年 3 月に決定することになる。

サーバーのレンタル料とドメイン料金、プロバイダー料金等のハード面の委託料金は、事務費に移行した。

Web ページ更訂のプレゼン (広報部運営委員 山崎靖晃会員)

ホームページ改訂をするために、他県栄養士会の HP を見本として東京都栄養士会の HP を参考に作成している。

今回の作成は、テンプレート(雛形)を使用していくことで費用も安くできる。またワードプレスであればホームページを作成編集することができる。使用するものとして AVANT を使用する予定。公開までの手順の説明があった。担当理事 ⇒ 事務局 ⇒ 三役 ⇒ 事務局 ⇒ アップの手順

今までのホームページとの違いは、http//から https//にかわるこの変化はデータの移動のとき暗号化されるようになる。ホームページ作成後、運用費としてホームページの企業があり、そこで保守管理をしてもらうことができる。その予算も入れていただいた。個人に払うものが期間や内容についてどうするのかは、改めて決めていただきたい。作成内容については、写真等の提案をしていただけるが、いろいろ提案したり作り込みの要望に比べると、それだけ経費が増えます。

今後の金額については、詳細をすり合わせていくことで変更があります。

将来的に静栄のホームページに動画を入れていきたい。動画の容量は大きいので、2G 程度である。サーバーは格安な物なので、あまり沢山の人が同時に見ることはできない。30 名程度ではないか。YOU チューブでデータを別に保存することもできる。

協議事項に対し、以下のような意見が出された。

- ・来年度の予算はどこまでが情報管理となるのか、分かるようにしたほうが良い。同時に広報の業務内容をはっきりさせないと予算が入れられない。広報の仕事としては、月 2 回のホームページ更新、月 2 回のメールマガジンとトピックス静栄の発行、栄養士のおすすめメニュー、以上となっている。

- ・新ホームページを作成するだけでなく、運用をどうして行くのか、自分たちで運用する場合、今後更新していくのに、どのように担当していくのか詳細を決めなければならないのではないかな。
また、メールマガジン等の連絡アドレスを利用するのか、止めるのかも決めていく。
- ・外部からの広報については、現在はPDFで来ていて、そのままホームページにアップしている。
現在は事務局が担当しているが、アップのための承認は最終的にどこが行うかを決める必要がある。
また、移行した後のルーチン業務をどのように管理していくか。
- ・ホームページを替えるメリットについては、スマホ対応となり、ラインでの情報発信ができる。
- ・デメリットとしては、担当理事が更新作業をしなければならない。2年に1回理事が変わるので、その作業に対応できるか。

篠原広報部長より発言：

新ホームページの更新で、栄養士がすすめるメニューは平成30年度よりWordの書式にしたので、広報部で出来ると思う。

他団体からの広報の依頼については、事務局で更新ができる。

①から③については承認（但し、10月までエボリューションに現状のホームページを更新している間の更新確認作業と、メールマガジンの配信は継続）

④については、山崎会員にWebページの枠組み作業に取り掛かって貰うことが、承認された。

切り替え時期は、10月までには切り替えができる様に詳細についても準備する。

会長・新井副会長より発言：

これからホームページを並行し作成していくこととする。2019年4月から新ホームページの作成を進めてもらい、6ヶ月の間に準備するので、10月までに切り替えができるように考える。

会員への周知の時期は、総会に間に合えば良いが現状では難しいので、どこで周知するかも含め検討する。

新ホームページを作成するための予算40万円を組む必要があるなので、下記の内容案で検討する。

①理事会での理事の日当（1,100円）を無とする。

②研修会の開催数を減らす。

③理事会の人数調整。

④新入会の会員を増やす。

⑤研修会費を会員に一部負担して貰う方法

次の理事会までに三役で、ホームページの予算を組み込んで、前向きにすすめる。

2) 研修会 Web 申し込みの今後の対応について

12月末より、当会でも日栄のWebページから研修会の申し込みが始まったが、1月16日頃より不具合が生じて申し込みができない状況である。

このため、本会においてもWeb上での研修会申込を一時的に停止し(例：岐阜県)、静岡県栄養士大会(2月23日開催)の申込み受付限定で、下記の案のいずれかで受付を行いたい。

①今まで通り研修会申込ボタンをリンクさせ、日栄で改善してくれるのを待つ。

②岐阜県のように一旦閉じて、FAX、電話で受け付ける。

③岐阜県のように一旦閉じて、以前使っていた研修会申込ページを使用する。

この場合、一旦静栄HPにログインし、会員専用ページの「研修会申込はこちら」バナーからの申し込みになる。

→③の方式で、今年度研修会まで行う

3 連絡事項

(1) 入会案内、入会申込書の件

新業務支援システムで入力項目の変更を反映して、入会申込書、入会案内を変更したので、承認をお願いしたい。 別紙資料参照 ⇒ 承認

(2) 新入会員の承認について (木下総務部長) 1名の入会あり。承認

(3) 会費に係る手数料について

ゆうちょ自動引落が、2022年4月以降に有料サービス(ゆうちょBIZダイレクト)となる。そのため、現行会費納入方法の違いによる手数料等を比較した(別紙資料)。

会員が選択することなので、また情報を整理して会員へお知らせする。

(4) 2019年度会員専用ページのパスワードの件 2019年度 4月1日から変更

6. 確認事項

(1) 静岡県がん診療連携協議会支持療法部会・静岡県立静岡がんセンター主催研修会について (久保田理事)

・静岡県は平成29年がん診療連携協議会支持療法部会を設置し、がん支持療法の推進と普及を目的に研修会を開催。(平成30年度第1回支持療法研修会)

日時:平成31年2月2日(土)13:30~16:45 静岡県庁西館4階第一会議室 定員200名

※ 地域がん拠点連携拠点病院を中心に案内、1月25日現在8名参加申込み済み。

(2) 2019年度東海北陸地区会長等合同会議の準備経過について(坪井会長)

東海北陸地区会長等合同会議は日栄が主催だが、平成31年度は当番県が静岡県となる。開催場所は、焼津の松風閣、本年8月31日と9月1日を予定している。

参加者は24名程度となる予定。中部の理事は何名か協力してほしい。

このため、平成31年1月12日(土)の午後に、焼津市の松風閣へ会場借用等の打合せで訪問した。松風閣担当者 営業部営業推進課 課長・鈴木様

(3) ホームページのバナー広告について

ホームページのバナー広告の通知を2月に賛助会員に出している。

来年度はホームページも新しくなるので、バナー広告についての年間金額のご案内をどうするか(TOPページとその他のページでは金額が異なるため)

2月に通知を出すためには、この時期に検討では遅い状態なので、2019年度は現状のままとする。2020年度の検討を早い時期に事務局から提案してもらう。⇒(承認)


以上


この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

平成 31 年 1 月 27 日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 塚井厚 

副会長 新井英一 

副会長 木下初代 

監事 秋谷喜志子 

監事 高林真佐代 

